

今、何の病気が流行しているか！

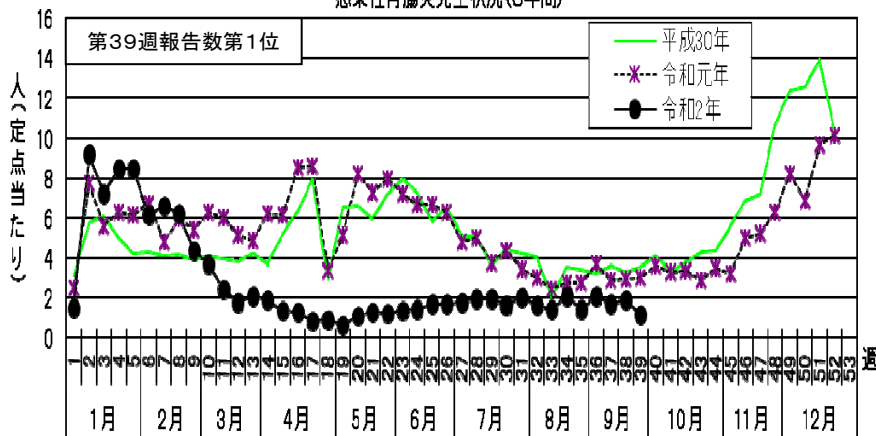
【感染症発生動向調査事業から】

令和2年9月21日（月）～令和2年9月27日（日）〔令和2年第39週〕の感染症発生状況

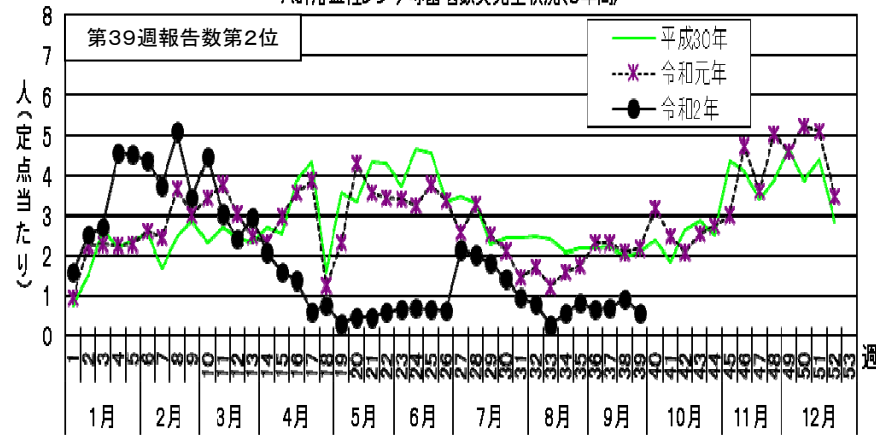
第39週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.19人と前週（1.89人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.57人と前週（0.92人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.49人と前週（0.54人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



小児へのロタウイルスワクチン定期接種が開始されます！

令和2年10月1日から小児へのロタウイルスワクチンの定期接種が開始されます。ロタウイルスは感染性胃腸炎の原因となる病原体の1つで、水様性の下痢や嘔吐を主症状とする感染症を引き起こします。ほとんど全ての子供が乳幼児期にロタウイルスに感染しますが、年齢が低いほど重症化するといわれています。ワクチン接種は早めに開始し、早めに完了しましょう。

ロタウイルスワクチンについて

【対象者】

令和2年8月1日以降に生まれたお子さん
(ただし、令和2年9月30日までの予防接種は任意接種となり、費用がかかります。)



【ワクチンの種類と接種回数】

2つのワクチンは接種回数異なります。最初に受けたワクチンと同じ種類を接種してください。



初回接種は、生後6週から生後14週6日までに受けてください！
2回目以降の接種は生後14週6日の前後いずれでも接種できます。

(厚生労働省ホームページより)

接種後1～2週間は「腸重積症」に注意し、「突然激しく泣く」、「嘔吐を繰り返す」、「ぐったりして顔色が悪い」、「便に血が混じる」などの様子が見られたらすぐに医療機関を受診しましょう。